

学力向上チャレンジ校だより

平成 28 年 10 月 20 日
(八次中学校区研究推進地域 第 8 号)

第 7 回研究授業及び研究協議会へのご参加ありがとうございました。今回の協議会の内容や指導助言を以下にまとめておりますので、全教科・全教職員で研究を推進していきましょう。

【第 7 回研究授業（国語）】 日時：平成 28 年 10 月 14 日（金）

単元名：いにしへの心を訪ねる

扇の的一「平家物語」から

指導者：八次中学校 高木春香 教諭



★授業で提案した指導改善のポイント

- ★学習課題…①時代背景や場面設定と関連付けて心情や作者の意図を考えさせる。
- ②予習で書いた自分の考えを授業で活用する。



【研究協議会】

○生徒の音読への意欲もあり，声もしっかり出ていた。（←日常的な取組＋小学校での取組）

○予習が設定されており，家庭学習と授業をつなぐ姿勢が見られた。

○どちらを伝えたかったのかという発問により，作者の思いを想像させようとしていた。

●一問一答の発問が多く，内容の読み取りに時間がかかった。

→改善策①発問を精選する。

（例）「登場人物は誰か」→「誰がどうした話か。」…生徒に説明させる

改善策②視覚的教材を用いる。

（例）場面設定のある図を提示→「どんな場面か。」…生徒が考えたくなる

●生徒の発表の言葉やノートの記述をもっと生かすとよかった。

→改善策①机間指導での肯定的評価を行う。…他の生徒の意見のヒントになる。

②発表で出た意見を評価したり，他の生徒につないだりする。…意見を共有化できる

③生徒の記述を見取り，発表順も含めて意図的指名をする。…意見が深まる

④時代背景や作者の視点などを生徒に理解させておく。…根拠を考えやすい

●30%未満の生徒への手立てを具体的に準備しておく。

指導助言

＜三次市教育委員会 学校教育課 新谷勝治 指導主事＞

（1）授業について

・事前準備，視覚支援，ノート指導，音読などがよかった。

・考えたこと，書いたことを伝える場の設定をする。

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については，小学校の学習指導要領で関連を意識する。

・本時では何が書いていたらよかったのかを明確にする。

（2）今後の授業改善に向けて

○主体的な学び

教師の話聞くだけでなく，みんなで分かち合うような学習へ

（例）聞く→調べる・考える→対話する→発見する，気づく

○今の取組を振り返る視点

・どんな場面で協同学習を仕組んでいるか？

・どういう形で行っているか？ ・目的は？

（3）研修の充実に向けて

・研究授業から自分を取り入れたいことを記述

・個々の課題を見比べ，概念化シートで共有化



★どの教科にもつながる点★

①全員が参加できる活動の設定

②生徒の意見を生かした授業展開

③本時のゴール像の明確化